

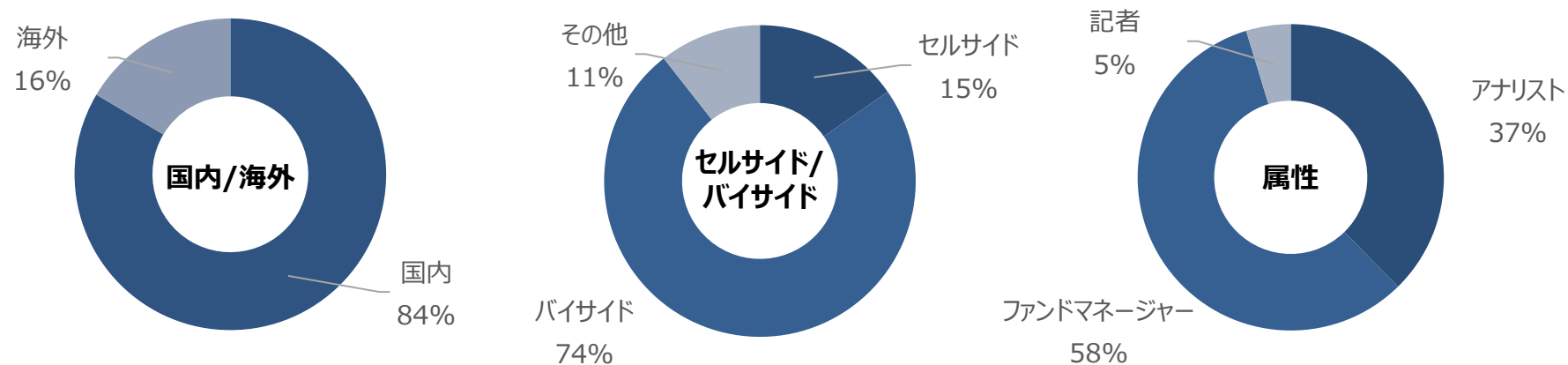
2026年3月期に係わる 株主・投資家との対話の実施状況

2026年7月21日
三桜工業株式会社

- 新たな施策として、「**社外取締役と機関投資家・アナリストのスモールミーティング**」を開催。
- また、決算発表後の個別面談に加え、「**資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応**」の開示に先立ち、**個別にヒアリングを実施**。
- 新事業のデータセンター事業への期待感もあり、前期よりも対話の機会が大幅に増加。（前期55回）

対話の手法	対象者	主な対応者	開催回数	参加社数・人数	外部への公表(リンク)
決算説明会(オンライン) [2025.11・2026.5]	・機関投資家 ・アナリスト	・社長 ・CFO	2回	48社（延べ）	2Q 資料 2Q Q&A 通期 資料 通期 Q&A
個別面談(対面またはオンライン) [2025.8～2026.7]	・機関投資家 ・アナリスト	・社長 ・CFO ・経営企画部長 ・冷却システム事業推進部長/担当者 ・総務本部長/IR担当者	85回	85社（延べ） 内、6社と「 資本コストや 株価を意識した経営の実 現に向けた対応 」の開示 に先立ち、 個別にヒアリン グを実施	1Q Q&A 2Q Q&A 3Q Q&A 4Q Q&A
統合報告書説明会(オンライン) [2025.10]	・個人株主 ・個人投資家 ・機関投資家 ・アナリスト	社長	1回	1,582名+14社 (ライブ配信参加者)	資料 Q&A
個人投資家向け会社説明会(オンライン) [2026.3]	・個人株主 ・個人投資家	社長	1回	1,934名 (ライブ配信参加者)	資料 Q&A
【New】社外取締役と機関投資家・アナリストの スモールミーティング(オンライン) [2026.3]	・機関投資家 ・アナリスト	・社外取締役3名 ・総務本部長	1回	6社	発言要旨

- 通年を通じて継続的に個別面談を実施。セルサイドのアナリストカバレッジ（2社）は継続。
- 2026年5月の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の開示後、面談件数は増加傾向。



		1Q決算発表後 (25.8～25.10)	2Q決算発表後 (25.11～26.1)	3Q決算発表後 (26.2～26.4)	4Q決算発表後 (26.5～26.7)
アナリスト	国内	6件	8件	9件	7件
	海外	0件	1件	0件	1件
ファンドマネージャー	国内	9件	10件	7件	11件
	海外	2件	1件	2件	7件
記者	国内	1件	1件	1件	1件
	海外	0件	0件	0件	0件
合計		18件	21件	19件	27件

- 対話の主なテーマは以下の通り。
- 株主・投資家から得られた意見やアナリストレポートについては取締役会へ定期的に報告し、議論。

テーマ	主な内容
事業環境・業績動向	・ 自動車配管事業における製品の強みおよび参入障壁 ・ 事業シェア・競合の動向 ・ BEV/HEV/PHEV化による事業環境への影響 ・ 米国関税措置の影響と価格転嫁の進捗 ・ 中東情勢の影響 ・ 2026年3月期の決算概要 ・ 地域セグメント別の概況 ・ 2027年3月期の業績の見通し
成長戦略・ 事業ポートフォリオ	【既存事業】 ・ サンオー・ラストマン・スタンディング戦略（残存者利益獲得戦略）の進捗 ・ メキシコ子会社の買収効果および北南米事業の収益改善 ・ 欧州・中国における構造改革の進捗と収益性改善施策 【新事業】 ・ データセンター事業の進捗と成長見通し
資本政策・株主還元	・ 資本コストや株価を意識した経営への対応 ・ ROE・企業価値向上に向けた取り組み ・ 株主還元方針

- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(2026.5.26)」の開示 ([リンク](#)) に先立ち、セルサイドアナリスト等の資本市場関係者との事前ヒアリングを実施。
- 市場は既に当社の既存事業を評価せず、ROIC/ROEの実力を厳しく評価。
- 構造改革/業態変革/成長戦略と株価・資本効率の連動性を示せなければ、株価ディスカウントは継続するとのフィードバックを受領。

資本コスト・ROE

- ・ 中間KPIの設定だけでなく「利益率切り上げの兆候」に関する開示が望ましい
- ・ まず「ROE-エクイティコスト」のプラス化を確実にし、その後に2030年以降の持続的なROE15%以上の達成が求められる
- ・ ROE15%目標は評価されるが、達成確度への疑念が残る

収益性の改善

- ・ 本質は売上拡大ではなく、利益率など収益性の改善スピードと筋肉質な事業構造への転換
- ・ 自動車部品事業で営業利益率10%を実現できれば評価改善余地大
- ・ 日本の高販管費は構造課題（拠点分散＋間接費要因）

スクラップ&ビルド

- ・ 「経営の本気度」を伝えるメッセージとして好感
- ・ 先行投資による短期の利益率低下でも、日本・欧州・中国の改善と新事業の投資回収でROICが向上する絵姿を示せば良い
- ・ ネットDebtな三桜工業には、BS/PL/CFの改善が求められる
- ・ 債務超過会社：Geiger USA等の不採算事業売却に伴う一過性損失は、その後の収益力向上が説明できればポジティブ評価

今後の開示・株主還元

- ・ 配当性向やDOEの開示が望ましい
- ・ データセンター事業は現時点では業績ドライバーではなく、オプション
- ・ データセンター事業は不確実だが、小さな進捗でも継続開示すべし
- ・ 中間目標の設定は、実現可能な道筋と中間KPIの開示が鍵

注：開示日以前においては本資料はインサイダー情報が含まれるため、資本市場関係者との意見交換に際しては本開示の方向性の説明にとどめ、詳細な数値および具体的な施策については説明対象外

機関投資家・アナリスト向け工場見学会（茨城県古河市本社工場）

例年、本社工場において、機関投資家・アナリスト向けに工場見学会を開催。

既存事業である自動車部品の製造現場や新事業のデータセンター向け水冷/液冷システムの実機、生産ソリューション事業で手掛ける生産設備等をCOOおよびCFOがご案内。

直近開催概要：<https://pdf.irpocket.com/C6584/dRUj/pHfq/oAXB.pdf>



[2026年3月初開催] 社外取締役と機関投資家・アナリストのsmallミーティング

取締役会の実効性向上に向けた取り組みの一環として、また社外取締役が資本市場の視点を直接取り入れる機会の場として、機関投資家・アナリストとのsmallミーティングを開催。

今年度も引き続き開催予定。

当社側参加者：金子社外取締役（筆頭）、森地社外取締役、富岡社外取締役

テーマ別ディスカッション：

- ・IR（株主・投資家との対話）
- ・経営に対する評価
- ・中期経営方針

直近開催概要：<https://pdf.irpocket.com/C6584/rJAn/Bq1A/HFMh.pdf>

